

四二回生同期会

二〇二二年十一月十九日、ホテルサンルートプラザ新宿にて、新四二回同期会を開催しました。新宿高校創立百周年と銘打つてのことでしたが、実際は二年前の卒業三十周年、昨年の五十歳記念と三年越し三度目の正直で、やっと恩師の先生方、同級生と会場で顔を合わせる事が出来ました。

卒業三十周年同期会を手伝ってと代表幹事の齊藤君に声をかけられたのが二〇一九年の暮れ、生物の中藤先生宅で主にB組が集まった時のことです。するとあれよあれよという間に新型コロナウイルスが全世界にまん延する事態となつてしまいました。恩師の先生方には早々にご連絡差し上げていましたが、すると英語の木村先生が大病を患われて手術を受けられたとのこと。順調にご快癒されればと思いつつ、なるべく早いうちに同期会を開催したいと決意しました。卒業三十周年の年は新型コロナ第三波始まりの頃で、同級生だけでごちんまりとウェブ同期会を開催しました。

翌年五十歳記念として仕切り直しを

試みましたが、春に同級生に告知したとたんに第四波、開催可否を決定する夏には第五波と、ますます私が疫病神かのように襲来してきます。秋には感染が落ち着いていたので、木村先生ご夫妻、玉上先生と幹事に私の実家にお越しいただき、狭いリビングからウェブ上の同級生に配信し、腕をぶつけながら業間体操もしました。木村先生と奥様が朝早くからご用意してお持ち下さった栗赤飯の味が忘れられません。

そして今年には創立百周年。今年こそ会場で同期会を開催したいと再度企画を始めますと、早春の第六波、夏の第七波と次々と襲ってきます。しかしだいが軽症化して移動制限も無くなったので、先生方も今年は大丈夫でしょう、楽しみにしていますとおっしゃられ、何とか会場開催にこぎつけました。

普段も三年間の自粛生活で、久々に大勢で大きな会場が集まるのが穴から出てきたモグラのように眩しく思われ、会の開催は緊張しましたが、何とか無事務めることができました。

「先生というものは人前で話すのが好きなもので、どうも話が長くなっていけない」と仰りつつ、どの恩師も楽し気に朗々とお話になり、会場では恩



2022年11月19日 ホテルサンルートプラザ新宿にて



Zoom参加の42回生

師席を同級生のテーブルにお一人ずつ入れる試みもし、長い月日を超えて割と壁なくお話が出来たかと思っと思っています。

同窓会に先がけては、F組片山君

から、数学の秋山先生ご撮影・地学の豊澤先生ご編集というビデオを託されました。一年時の飯盒炊さん遠足、球技大会、朝陽祭の様子などまるでタイムカプセルのような貴重な映像を、この機に恩師・同級生へ共有することが出来ました。終生の宝物として大事にしたいと思えます。

同窓会にあたっては、コロナ禍の三年間、忙しい仕事の合間を縫ってたびたびウェブ会議やメールで一緒に企画を練って下さった幹事メンバーの皆、また我々の拙い企画に賛同して、度々のウェブ飲み会に参加してくれた同級

生の皆さんに胸いっぱい御礼を言いたいです。ありがとうございます。

次回は三年後の卒業三五周年（二〇二五年）に、同期会を予定しています。四二回はご連絡取れない方も多いので、ぜひご友人にお声がけ下さい。次回皆元気で再会できることを楽しみにしております。

（四二回 田角（千葉）由香）